

目次

発刊のことば

凡例

自然編

第一章 村の自然概観

第一節 境域

一 村の相対的位置と境域

二 各区の区境

第二節 位置・面積

一 水平的位置(緯度・経度)

(一) 村の位置

(二) 村の平地部

(三) 飛び地

二 垂直的位置(標高)

(一) 平地部

(二) 飛び地

(三) 他地域との関係

三 水平的關係位置(距離)

四面積

第三節 自然概要

第二章 地形地質

第一節 長野県の地形地質

一 地形の概要

二 地質の概要

第二節 伊那盆地北部の地形地質

一 地形の概要

二 地質の概要

第三節 南箕輪の地形地質

一 地形

(一) 山地

(二) 平地

1 扇状地

2 沖積地

3 河川

二 地質

(一) 概説

(二) 礫層

1 礫種

2 礫層

低位段丘礫層／新时期土石流・南殿段丘礫層／
神子柴Ⅱ段丘礫層／神子柴Ⅰ段丘礫層／南箕
輪段丘礫層／本村で一番古いと思われる礫層
(丸山礫層)

(三) テフラ層(火山噴出物層)

1 新时期テフラ層

- 2 中期テフラ層..... 四〇
- 3 古期テフラ層..... 四〇
- 四 黒雲母粘板岩帯..... 四〇
- (四) 活断層..... 四〇
- (六) 地震..... 四〇
- (七) ソリフラクションか異質構造か..... 四〇
- (八) 地形面..... 四〇
- 低位段丘面／新时期石流・南殿段丘面／神子
 柴Ⅱ段丘面／神子柴Ⅰ段丘面／南箕輪段丘面
 ／丸山段丘面..... 四〇

第三章 土 壤..... 四〇

- 第一節 総 説..... 四〇
- 第二節 土壤の生成と分布..... 四〇
- 第三節 土壤分類..... 四〇
- 一 地質系統及び母岩の種類による分類..... 四〇
- 二 理化学性から見た耕地土壤の分類..... 四〇
- 耕地土壤の分類／黒ボク土／多湿黒ボク土／
 灰色低地土..... 四〇

第四節 土地改良..... 四〇

- 一 西天竜土地改良事業..... 四〇
- 二 伊那土地改良区事業..... 四〇
- 三 伊那西部農業水利事業..... 四〇

第四章 陸 水..... 四〇

- 一 水 系(河川)..... 四〇

- (一) 木曾山脈を源流とする水系..... 四〇
- 小沢川／鳥谷川／大清水川／大泉川..... 四〇
- (二) 段丘崖を源流とする水系..... 四〇
- 半沢川／車沢川／中井沢川／大門川／入沢川
 ／栃ノ洞沢川／滝ノ沢川／南沢川／北沢川..... 四〇
- (三) 西天竜水系..... 四〇
- (四) 伊那西部開発事業水系..... 四〇
- 二 湧 水..... 四〇
- 三 井 戸..... 四〇
- 四 砂防ダム湖・ため池..... 四〇

第五章 気象と気候..... 四〇

- 第一節 概 説..... 四〇
- 一 世界的気候区分からみた南箕輪の気候..... 四〇
- 二 日本の気候区分と本村の特徴..... 四〇
- 三 本村をとりまく地形の概要と気候..... 四〇
- 第二節 気 温..... 四〇
- 一 平均気温..... 四〇
- 二 最高気温と最低気温..... 四〇
- 三 夏日 真夏日、冬日・真冬日..... 四〇
- 四 気温の日変化・日較差..... 四〇
- 第三節 降 水..... 四〇
- 一 年別・月別降水量..... 四〇
- 二 降水日数・日降水量..... 四〇
- 三 時間最大降水量..... 四〇

四	梅雨と秋霖	九〇
五	雷 雨	九一
六	雪	九三
七	雹(ひょう)	九四
第四節	風	九四
一	風向・卓越風 風速	九四
二	暴 風(台風)	九六
三	その 他	九六
	春一番/黄砂現象/山谷風	
第五節	その他の気象	九六
一	日射と日照	九六
	日射/日照時間 日照率	
二	湿 度	一〇一
	相对湿度/相对湿度の年変化/相对湿度の日変化	
三	霜	一〇三
	初霜と終霜/無霜期間/霜道 霜穴	
第六節	本村の年間の気象の姿	一〇四
	気象観測表の見方/五四年一〜四月/五七年一〜四月/五四年五〜八月/五七年五〜八月/五四年九〜十二月/五七年九〜十二月/五四年と五七年の気象の比較	
第七節	天気とくらし	一〇三
一	気候と人体	一〇三
(一)	人間生活の最適気候と南箕輪の気候	一〇三
(二)	気候病 委節病 気象病	一〇四

一	気候病・委節病	一〇四
二	気象 病	一〇五
二	気候と生活	一〇五
(一)	気候と住居様式	一〇五
(二)	四季の変化と人間生活	一〇六
一 節	季	一〇六
2	生物季節	一〇七
三	気象と災害	一〇八
(一)	風 害	一〇八
(二)	水 害	一〇九
(三)	凍 霜 害	一一〇
(四)	冷 害	一一一
(五)	その他の気象災害	一一一
四	気象・気候と農業	一一一
(一)	気温と農業	一一一
1	気温と作物の栽培限界と栽培適地	一一一
2	気温の変化(較差)と農業	一一二
(二)	湿気(降水量)と農業	一一三
(三)	温度 湿度と病虫害の発生	一一四
(四)	日長 日照と農業	一一五
第六章	植 物	一一五
第一節	総 説	一一五
第二節	生態と分布	一一五
一	西山の植物	一一五

二 里山の植物	二四	四 防風 防砂・生垣用の植物	一七
三 西天竜水田地帯の植物	二五	四 植物と行事等	一六
四 天竜川の古い氾濫原の植物	二五	五 植物と方言	一六
五 川原の不安定地帯の植物	二五	六 植物の今昔	一八
第三節 農耕地の雑草	二五	(一) 昔の懐かしい植物	一八
一 畑地の雑草	二五	霊松一本木／カシノキの巨木／南殿のカヤ／	
二 水田の雑草	二六	ナンジャモンジャの木／モクロンジ／中ノ原	
第四節 社そうと巨木	二七	の赤松とその並木／クマヤナギとアキグミ	
殿村八幡宮の社そう／北殿庚申塚のエドヒガ		(二) 草木で少なくなったもの	一八
ンザクラ／久保神明宮の社そう／大和泉神社		(三) このごろ多く目につくもの	一八
のケヤキ／田畑神社の社そう／白山八幡社合		七 植物と子供の遊び	一八
殿のモミジ／神子柴御射山社のカラマツ／沢		第八節 南箕輪植物目録	一五
尻恩徳寺のイチヨウ／酒屋のコウヤマキ／久		第九節 茸(キノコ)	一四
保西念寺のイチヨウ／田畑門屋墓のイチヨウ		一 菌類の中のキノコ	一四
雌雄樹／高岡のカヤ／神子柴一六組のアカマ		二 村内、県内のキノコ	一四
ツ／大東のカヤ／古屋のスギ		三 キノコの種類	一五
第五節 帰化植物	二七	四 食用キノコ	二二
第六節 薬用植物と有毒植物	二七	五 毒キノコ	二四
南箕輪の薬用植物	二七	(一) 毒キノコについての迷信とその解明	二四
南箕輪の有毒植物	二七	(二) 毒キノコの種類	二五
第七節 植物と生活	二七	(三) 毒の成分と解毒の方法	二六
一 信仰の対象としての植物	二七	(四) キノコ中毒の型	二六
二 最近の植生の変化	二七	六 キノコの効用	二七
三 資源としての植物	二七	(一) ガン(癌)に効くキノコ	二七
(一) 食用となる植物(嗜好植物も含む)	二七	(二) 菌類のはたらき	二七
(二) 用材・薪炭植物	二七		
(三) 飼料植物	二七		

第七章 動物……………二〇元

第一節 総説……………二〇元

一 自然環境と動物……………二〇元

(一) 地形と動物……………二〇元

(二) 気候と動物……………二〇元

二 植生と動物……………二〇元

三 開発と動物……………二〇元

第二節 生態と分布……………二〇元

一 哺乳類……………二〇元

二 鳥類……………二〇元

(一) 環境……………二〇元

(二) 村内に多く見られる鳥……………二〇元

1 人里に多く見られる鳥……………二〇元

2 人里から低山帯に多く見られる鳥……………二〇元

3 人里から亜高山帯に多く見られる鳥……………二〇元

4 人里から高山帯に多く見られる鳥……………二〇元

5 水辺に多く見られる鳥……………二〇元

(三) 小鳥の保護……………二〇元

(四) 長野県に普通に見られる鳥……………二〇元

三 爬虫類……………二〇元

四 両生類……………二〇元

五 魚類……………二〇元

六 貝類……………二〇元

七 カニ・エビの類……………二〇元

八 昆虫類……………二〇元

(一) 南箕輪の自然と昆虫……………二〇元

1 木曾山脈地域……………二〇元

2 大芝原に代表される平地林と畑作地域……………二〇元

3 西天竜水田地域……………二〇元

4 段丘崖下の地域……………二〇元

(二) 南箕輪の昆虫の種類……………二〇元

1 無翅亜綱……………二〇元

2 有翅亜綱……………二〇元

(三) 南箕輪の蝶……………二〇元

1 はじめに……………二〇元

2 南箕輪の蝶の生息地……………二〇元

3 南箕輪の蝶の種類と分布……………二〇元

4 南箕輪の蝶の季節的発生消長……………二〇元

5 南箕輪の蝶のファウナ(蝶相)……………二〇元

6 蝶の生活生態……………二〇元

(四) 南箕輪のセミ……………二〇元

1 南箕輪に生息するセミの種類……………二〇元

2 南箕輪に生息するセミの特徴……………二〇元

3 南箕輪に生息するセミの生態……………二〇元

(五) 南箕輪のトンボ……………二〇元

1 はじめに……………二〇元

2 南箕輪のトンボの生息地……………二〇元

3 南箕輪に生息するトンボの種類……………二〇元

4 南箕輪のトンボの成虫期間と交尾期……………二〇元

5 南箕輪に生息するトンボの特徴……………二〇元

6 ヤゴ(トンボの若虫)の生活生態……………二〇元

(六) 南箕輪のハチ	二九六
1 はじめに	二九六
2 ハバチ類	二九八
3 キバチ類、寄生バチ類	二九八
4 アナバチ類	二九八
5 ミツバチ類	三〇〇
6 マルハナバチ類	三〇〇
7 スズメバチ類	三〇二
九 蜘蛛類	三〇九
(一) はじめに	三〇九
(二) クモ類の体の構造	三〇九
(三) 南箕輪のクモの種類	三一
(四) クモの生活(定住性と放浪性)	三一
(五) クモ類の生活(狩猟性と造網性)	三四
(六) クモの生殖	三九
(七) クモの天敵	三二
第三節 生活と動物	三三
一 獣類	三三
二 鳥類	三三
三 魚類	三三
四 昆虫類	三六
五 動物と村の子供たち	三七
(一) 鳥と村の子供たち	三七
(二) 蜂追	三三
(三) イナゴとり	三四
(四) 魚とり	三五
(五) その他	三七

遺跡編

第一章 村内遺跡の概要

一 村内における遺跡の分布	三三
二 主要遺跡の発見発掘の経過	三三
三 南箕輪遺跡一覧表	三五

第二章 神子柴遺跡

一 位置及び環境	三五
二 遺跡発見の動機と経過	三四
三 第一次発掘調査	三五
(一) 発掘の主体・期日等	三五
(二) 出土遺物	三五
1 石器	三五
2 土器	三五
(三) 出土状況	三七
四 第二次発掘調査	三五
五 第一次、第二次発掘による神子柴遺跡の性格と問題点	三五
六 第三次緊急発掘調査	三五
(一) 遺跡調査主体及び期日	三五
(二) 遺構・遺物	三五
1 A地点における遺構・遺物	三五

(1) 先土器時代	三六九
(2) 縄文時代	三六三
(3) 歴史時代	三六七
2 B・C D・F地点の遺構及び遺物	三六九
七 第三次発掘調査のまとめ	三七三

第三章 大芝東遺跡

一 位置及び環境	三七六
二 発掘の主体・期日・グリッドの設定等	三七六
三 遺構と遺物	三七六
(一) 住居跡	三七六
(二) 土 壙	三七九
(三) 溝状遺構	三八三
(四) その他の遺物	三八三
四 まとめ	三八七

第四章 南高根遺跡

一 位置及び環境	三八八
二 発掘の主体・期日・グリッドの設定等	三八八
三 遺構と遺物	三八九
(一) 住居跡	三八九
(二) 土 壙	三九四
(三) その他の遺物	三九四
四 まとめ	三九五

第五章 北高根A遺跡

一 位置及び環境	三九六
二 発掘の主体・期日・グリッドの設定等	三九六
三 遺構と遺物	三九七
(一) 住居跡	三九七
(二) 柱 穴 群	四〇一
(三) 土 壙	四〇一
(四) 溝状遺構	四〇四
(五) その他の遺物	四〇四
四 まとめ	四〇九

第六章 高根遺跡

一 位置及び環境	四一〇
二 発掘の主体と期日	四一〇
三 遺構・遺物	四一三
(一) 竪 穴 跡	四一三
(二) 土 壙 群	四一三
(三) 縄文土器	四一四
(四) 出土陶器	四一七
四 まとめ	四一八

第七章 天伯遺跡

一 位置及び環境	四一九
----------	-----

二 発掘の主体と期日…………… 四三〇

三 遺構・遺物…………… 四三〇

(一) 住居跡…………… 四三〇

(二) 出土遺物…………… 四四〇

1 縄文土器…………… 四四〇

2 縄文時代その他の遺物…………… 四四〇

3 弥生土器…………… 四四一

4 土師器…………… 四四二

5 須恵器…………… 四四三

6 灰釉陶器…………… 四四七

7 鉄製品…………… 四四七

8 紡錘車…………… 四四八

四所 見…………… 四四八

(一) 縄文文化…………… 四四八

(二) 弥生文化…………… 四四九

(三) 土師式文化…………… 四四九

第八章 箕輪遺跡…………… 四五五

一 遺跡の位置と自然環境…………… 四五五

二 遺跡の発見と発掘経過…………… 四五四

三 出土遺構と遺物…………… 四五五

(一) 遺構…………… 四五五

(二) 出土遺物…………… 四五九

1 土器・陶器の類…………… 四五九

2 石器類…………… 四六〇

3 木製品…………… 四六六

4 その他の遺物…………… 四七二

四 箕輪遺跡の特徴と歴史的環境との関係…………… 四七二

(一) 箕輪遺跡の特徴…………… 四七二

(二) 箕輪遺跡と歴史的環境との関係…………… 四七二

信仰生活編

第一章 概説…………… 四七五

第一節 信仰生活の概要…………… 四七五

一 呪術信仰…………… 四七五

二 農耕儀礼・神々の誕生・社のおこり…………… 四七六

三 神仏融合…………… 四七六

四 神社と寺院…………… 四八〇

(一) 神社…………… 四八〇

(二) 寺院…………… 四八二

第二節 江戸時代までの信仰生活…………… 四八三

一 神仏融合の信仰…………… 四八三

二 道標に見る信仰…………… 四八四

三 御師と村人の信仰…………… 四八四

四 寺檀制度による宗教統制…………… 四八五

五 朱印状による寺社の保護…………… 四八八

第三節 明治維新以後の宗教…………… 四九一

一 復古思想による神道の進出…………… 四九一

二 キリスト教の解放と圧迫…………… 四九三

三 神仏分離 廃仏毀釈…………… 四三
 四 神葬復礼…………… 四九五
 五 神社神道国教化の進行…………… 四九七
 六 戦時統制下の宗教界…………… 五〇〇

第四節 戦後の宗教界…………… 五〇三
 一 国家神道の解体…………… 五〇
 二 宗教の復興…………… 五二
 三 キリスト教…………… 五三

第二章 神 社…………… 五五

第一節 概 説…………… 五五

第二節 鎮 守 社…………… 五六

一 神明宮…………… 五六
 二 塩ノ井神社…………… 五七
 三 殿村八幡宮…………… 五八
 四 田畑神社…………… 五〇
 五 白山社八幡社合殿…………… 五二
 六 日光社月光社合殿…………… 五三
 七 二宮神宮…………… 五三
 八 大芝神社…………… 五四
 九 大和泉神社…………… 五四
 一〇 諏訪神社…………… 五六

第三節 鎮守社に準ずる神社…………… 五六
 一 北殿神社…………… 五六

二 三峯神社…………… 五七
 三 御射山社…………… 五七
 四 伊雑皇大神宮…………… 五九
 五 諏訪大明神…………… 五九

第四節 古宮・神社の跡…………… 五九
 一 久 保…………… 五九
 二 塩ノ井…………… 五九
 三 北 殿…………… 五〇
 四 田 畑…………… 五〇
 五 神子柴…………… 五一
 六 大 泉…………… 五一

第五節 神祇信仰…………… 五一

1 諏訪信仰…………… 五一
 2 伊勢信仰…………… 五三
 3 八幡信仰…………… 五三
 4 出雲信仰…………… 五三
 5 えびす信仰…………… 五三
 6 熊野信仰…………… 五三
 7 荒神信仰…………… 五三
 8 天神信仰…………… 五四
 9 山神信仰…………… 五五
 10 水神信仰…………… 五五
 11 富士信仰…………… 五六
 12 金毘羅信仰…………… 五六
 13 蚕玉信仰…………… 五六
 14 稲荷信仰…………… 五九

15	山岳信仰	五〇
16	御嶽信仰	五〇
17	地神信仰	五三
18	戸隠信仰	五三
19	秋葉信仰	五三
20	三峯信仰	五三
21	津島信仰	五三
22	蛇神信仰	五三
23	金山様信仰	五三
24	天伯信仰	五三
25	半僧坊信仰	五三
26	塩竈信仰	五三
27	白山信仰	五三

第三章 寺 院

第一節 概 説……………五五

第二節 寺・堂……………五五

一 久 保……………五五

西念寺

二 塩ノ井……………五六

西光寺

三 北 殿……………五六

松林寺／新四国霊場

四 神子 柴……………五〇

薬師堂

五 沢 尻……………五二

恩徳寺

六 大 泉……………五三

勝光寺

第三節 寺・堂・庵の跡……………五三

一 久 保……………五三

(一) 久保寺跡……………五三

(二) 観音堂跡……………五三

二 北 殿……………五三

(一) 観音堂跡……………五三

(二) 薬師堂跡……………五三

(三) 十王堂跡……………五三

(四) 松林寺跡……………五三

三 南 殿……………五三

(一) 龍麟閣跡……………五三

(二) 地藏庵跡……………五三

(三) 海潮庵跡……………五三

(四) 十王堂跡……………五三

四 田 畑……………五三

(一) 地藏堂跡・お子安様……………五三

(二) 薬師堂跡……………五三

五 神子 柴……………五三

(一) 金剛院跡……………五三

(二) 薬師堂跡……………五三

六 沢 尻……………五三

金峰堂跡

七大 泉……………五八

(一) 太子堂跡……………五八

(二) 勝光寺跡……………五八

第四節 仏信仰……………五八

1 阿弥陀信仰……………五八

2 薬師信仰……………五九

3 観音信仰……………五九

4 弥勒信仰……………五九

5 勢至菩薩信仰……………五九

6 地藏信仰……………五九

7 大日如来信仰……………五九

8 不動信仰……………五九

9 愛染明王信仰……………五九

10 虚空藏菩薩信仰……………五九

11 文殊菩薩信仰……………五九

12 毘沙門天信仰……………五九

13 十王信仰……………五九

14 摩利支天信仰……………五九

15 五輪塔……………五九

16 太子信仰……………五九

17 大師信仰……………五九

18 回国巡拜……………五九

19 大乘妙典六十六部供養……………五九

20 撰待供養……………五九

21 宝篋印塔……………五九

22 題目塔……………五九

23 卵塔……………五九

24 万霊塔……………五七

25 修験道……………五七

第四章 民間信仰……………五九

第一節 概説……………五九

第二節 祝殿……………五九

第三節 講……………五九

一 山の神講……………五九

二 数戸又は数人で集まつてする講……………五九

(一) 庚申講……………五九

(二) 甲子講……………五九

(三) 日待・月待の講……………五九

(四) 念仏講・観音講・子安講・御詠歌講……………五九

三 代参する講……………五九

第四節 道祖神信仰……………五九

民俗編

第一章 衣生活……………五九

一 衣料……………五九

(一) 大麻……………五九

(二) 木綿……………五九

(三) 絹……………五九

(四) 雑織維……………五九

(四) 毛 糸	五五
(六) 化学纖維	五五
二 機 織 り	五五
(一) 糸こしらえ	五五
(二) 手 染 め	五五
(三) 機織りから織り上るまで	五五
三 普 段 着 ・ 晴 着	五五
(一) 下 着	五五
(二) 着 物	五五
(三) 羽 織	五五
(四) 帯	五五
(五) 袴	五五
(六) ねんねこぼんてん	五五
(七) 外 套	五五
(八) 襟 卷	五五
四 仕 事 着	五五
(一) 男の野良支度	五五
(二) 婦人の野良支度	五五
(三) 頭や手足の保護に使われたもの	五五
五 雨 具 ・ 雪 具 ・ は き も の	五五
(一) みの・かさ・からかさ	五五
(二) はきもの	五五
六 寝 具	五五
(一) 布 団	五五
(二) ねまき	五五
(三) どてら・たんぜん	五五
(四) まくら	五五

第二章 食生活

七 衣類の管理とつくりい	五三
(一) 洗 濯	五三
(二) 保 管	五三
一 常 の 食	五四
(一) 米	五四
(二) 混 食	五五
(三) こわ飯	五五
(四) す し	五五
(五) 餅	五五
(六) 粉 食	五五
二 加 工 食 品	五八
(一) 保存食・副食	五八
(二) 漬 物	五〇
三 調 味 料	五三
(一) 塩	五三
(二) 味 噌	五三
(三) 醬 油	五三
(四) 甘 味 料	五四
(五) 油	五五
(六) 酢	五五
四 酒 類	五五
五 食 事	五八
六 はれの食	五九
七 救 荒 食	六〇

(イ) 刈敷刈り……………三三
 (ロ) 草場草刈り……………三三
 (ハ) 土手草刈り・あぜ草刈り……………三三
 (ニ) 仕上げ代……………三三
 (ホ) 田 植……………三三
 (ヘ) 田の草取り……………三三
 (ニ) 収 穫……………三三
 (イ) 白ひきと精米……………三三
 三 畑 作……………三七
 四 養 蚕……………三六
 五 林 業……………三六〇
 六 漁 業……………三六〇
 七 わさび作り……………三六二
 (一) 冬草場からわさび畑へ……………三六二
 (二) わさび畑作り……………三六二
 (三) 植付・管理・収穫……………三六二
 八 稲わらの利用……………三六三
 九 夜 業(よなべ・ようなび)……………三六四

第五章 交通・運搬・交易・通信……………三六四

第一節 交 通……………三六四

一 道 路……………三六四
 (一) 村の中の道……………三六四
 (二) 馬入れ道……………三六四
 (三) 他村への道……………三六四
 (四) 春日街道……………三六七

(五) 伊那街道……………三六八
 (六) 権兵衛街道……………三六八
 (七) 道路の管理……………三六八
 二 交通施設……………三六八
 (一) 道 標……………三六八
 (二) 橋……………三六八
 (三) 渡し舟……………三六八
 (四) 本陣と旅籠……………三六八

三 旅の安全……………三六八

(一) 昔の旅……………三六八
 (二) 旅立ち……………三六八
 (三) 陰 膳……………三六八
 (四) 帰還祝い……………三六八

第二節 運 搬……………三六八

一 人力運搬……………三六八

(一) 手にかかえて運ぶもの……………三六八
 (二) 背負って運ぶもの……………三六八
 (三) 腰につけて運ぶもの……………三六八
 (四) 肩でかついで運ぶもの……………三六八
 (五) 押したり引いて運ぶもの……………三六八
 (六) 自転車……………三六八

二 畜力による運搬……………三六八

(一) 馬の背……………三六八
 (二) 運送車……………三六八
 (三) 乗合馬車……………三六八
 三 動力による運搬……………三六八

第三節 交 易…………… 六六

一 訪問売りの商人…………… 六六

二 修理に回ってきた職人たち…………… 六六

三 呼売りの行商人…………… 六六

四 訪問買いにきた商人…………… 六六

五 市での交易…………… 六六

六 盆・暮れの勘定…………… 六六

七 交易用具…………… 六六

(一) 帳簿類…………… 六六

(二) 計量用具…………… 六六

(三) 計算用具…………… 六六

(四) 鑑札 看板・広告など…………… 六六

第四節 通 信…………… 六七

一 近距離通信…………… 六七

二 遠距離通信…………… 六七

三 郵便と電気通信…………… 六七

第六章 社会生活…………… 六八

第一節 ムラ(区)の生活…………… 六八

一 ムラ(区)の発生…………… 六八

二 ムラの運営…………… 六八

三 ムラの費用…………… 六八

(一) 昔の村入用…………… 六八

(二) 現代の区費…………… 六八

四 ムラの中の組織(組)…………… 六八

五 ムラの共有地…………… 六八

六 相互扶助…………… 六八

(一) 昔のムラの相互扶助…………… 六八

(二) このごろの組の相互扶助…………… 六八

七 ムラ 役(ムラ人足)…………… 六八

八 ムラ制裁…………… 六八

第二節 ムラ定め・村定め…………… 六八

一 一般のムラ定め…………… 六八

二 儉約のムラ定め・村定め…………… 六八

(一) 江戸時代のムラ定め…………… 六八

(二) 明治時代の村定め…………… 六八

(三) 大正時代の村定め…………… 六八

(四) 昭和戦前の生活改善…………… 六八

(五) 戦後の生活改善…………… 六八

第三節 家の生活…………… 六八

一 家 株…………… 六八

二 家 筋…………… 六八

三 血 統…………… 六八

四 身 上…………… 六八

五 家 柄…………… 六八

六 屋 号…………… 六八

七 家 族…………… 六八

八 親 類…………… 六八

九 分 家…………… 六八

一〇 本家分家の関係…………… 六八

一一 同族組織…………… 六八

一二 家督相続	……	充九
一三 養子縁組と遺跡相続	……	充九
一四 隠居	……	七〇一
第四節 年齢集団	……	七〇二
一 子供組	……	七〇二
二 若者組	……	七〇二
三 娘組	……	七〇四
四 中年組	……	七〇四
五 消防組	……	六〇五
六 婦人会	……	七〇五
七 老人組	……	七〇五
第七章 人の一生	……	七〇六
一 産育に関する習俗	……	七〇六
二 幼少年期の習俗	……	七〇九
三 成人に関する習俗	……	七一〇
四 年祝いに関する習俗	……	七一一
五 婚姻に関する習俗	……	七二二
(一) 結婚の成立まで	……	七二三
(二) 結婚式の準備	……	七二五
(三) 結婚式	……	七二六
(四) 結婚式以後	……	七二九
(四) その他	……	七三〇
六 仏式葬	……	七三二
(一) 臨終	……	七三三

(二) 通夜	……	七三三
(三) 湯灌・納棺	……	七三三
(四) 火葬	……	七三三
(四) 葬送の段取り	……	七三三
(六) 役割分担	……	七三三
(七) 葬儀の準備	……	七三三
(八) 野辺送り	……	七三七
(九) 追善供養	……	七三三
(三) 風習の移り変わり	……	七三三
七 神葬	……	七三三
(一) 由来	……	七三三
(二) 葬儀	……	七三三
(三) 霊祭り	……	七三三
(四) 後の祭り	……	七三三
第八章 民俗知識	……	七三五
一 家庭のしつけ	……	七三五
二 医療衛生	……	七三六
三 俗信	……	七三七
(一) 予兆	……	七三七
(二) 占い	……	七三九
(三) 禁忌	……	七四〇
(四) 呪い	……	七四二

第九章 児童……………七五五

一 手伝い……………七五五

(一) 朝の手伝い……………七五五

(二) 子守……………七五五

(三) 小家畜の飼育と管理……………七五六

(四) 掃除・草とり 洗濯……………七五六

(四) たきもの拾い……………七五六

(六) 養蚕の手伝い……………七五七

(七) 稲作の手伝い……………七五七

(八) 風呂の手伝い……………七五七

(九) ランプのほやみがき……………七五七

二 遊 び……………七五七

(一) 年中行事にともなう遊び……………七五七

(二) 碁石などを使う遊び……………七五八

(三) 虫とたわむれ遊ぶ……………七五九

(四) 草花で遊ぶ……………七五九

(四) 木の実とり……………七五〇

(六) きのこと取り……………七五〇

(七) ベース遊び……………七五〇

(八) その他の遊び……………七五一

三 リズムをつけた童言葉……………七五三

四 童 唄……………七五三

(一) 子守唄……………七五三

(二) てまり唄……………七五三

(三) お手玉唄……………七五三

第一〇章 年中行事……………七五七

一 正月行事……………七五七

(一) 大正月……………七五七

(二) 小正月……………七五九

(三) 二十日正月……………七六〇

二 春夏の行事……………七六一

三 お 盆……………七六一

四 秋の行事……………七六一

五 歳末の行事……………七六〇

第一章 民俗芸能……………七六一

一 鹿 祭 り……………七六一

二 地 芝 居……………七六一

三 芝居興業……………七六一

四 盆 踊 り……………七六一

五 おんたけやま……………七六一

六 大泉ばやし……………七六一

七 そ の 他……………七六一

(一) 謡 曲……………七六一

(二) 獅子舞……………七六一

(三) 湯 立……………七六一

(四) 羽根つき唄……………七五五

(五) その他の遊び唄……………七五五

(六) 悪口唄……………七五五

第二章 説話・伝説

一 はじめに	六四
二 自然伝説	六四
1 不死清水	六四
2 窯どぶ	六五
3 大泉川の水	六七
4 霊松一本木	六八
5 エドヒガン桜	六九
6 榎の木	七〇
7 蛇塚	七〇
8 猪の子芝	七一
9 送り犬	七一
10 獄門草畑	七二
11 三足鶏	七三
12 音羽の池	七三
三 歴史伝説	七四
1 一里塚	七四
2 権理塚	七四
3 長慶塚	七五
4 五輪塔	七五
5 御射山様	七六
6 長者の井	七七
7 部落名のいわれ	七九
8 塩ノ井に過ぎたるもの	七九
9 北殿四十九塚	八〇

四 宗教伝説

1 子安観音	八〇
2 お子安様	八一
3 大銀杏	八一
4 目の神様	八二
5 薬師堂の焼け仏	八四
6 薬師堂跡	八五
7 穢守殿	八五
8 来る身塔婆	八五
9 上人塚	八七
10 立石	八八
11 おこわさま	八八

第三章 方言

一 はじめに	八〇
二 方言意識	八〇
三 本村の方言の位置	八〇
四 本村の方言と使用例	八一
—— あん(五十音順) ——	
南箕輪村誌編纂委員会会則	八二
南箕輪村誌刊行委員(昭和五九年度)	八三
主なる資料提供者	八四
南箕輪村誌編纂委員会(構成)	八五
上巻執筆者	八六
あとがき	八七